



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社

コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理部長 (氏名) 鷺本 晴吾

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5733-2121

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	608	△58.1	△242	—	△176	—	△64	—
24年9月期第2四半期	1,451	△70.8	△164	—	△138	—	△462	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 △65百万円 (—%) 24年9月期第2四半期 △193百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△54.42	—
24年9月期第2四半期	△387.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	4,929	2,444	49.0
24年9月期	6,417	3,632	36.8

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 2,413百万円 24年9月期 2,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

当社グループは、大型投資事業が売却条件(金額等)により業績に著しい影響が出る事が想定されるため、合理的な業績予想の提示は困難であると判断し、連結業績予想を未定としました。今回、当該事業の対象企業の好調な業績を受けて、更なる企業価値向上を待ため、当社グループが所有する全持分売却は一時的に見送りとし、一部売却は引続き検討を継続していくこととしています。このため、現時点においても、一部売却に係る条件により業績に著しい影響が出る事が想定されるため、合理的な業績予想の提示は困難であることから連結業績予想は未定とし、売却による業績への影響が判明次第、提示させていただくことといたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) FINTECH GIMV FUND,L.P.、フィンテックグローバル証券(株)

(注)詳細は、添付資料4ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	1,209,243 株	24年9月期	1,209,243 株
25年9月期2Q	— 株	24年9月期	— 株
25年9月期2Q	1,193,118 株	24年9月期2Q	1,191,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政権交代を契機とした円安基調への転換や株価回復の動きが見られるなど、一部に回復の兆しが表れてきました。しかしながら、欧州債務問題の長期化や、新興国経済の減速など不安材料は残っており、先行きは依然として不透明であります。

このような経済環境において当社グループは、企業を支援するブティック型投資銀行として、企業投資と投資銀行業務を軸に事業を展開しました。企業投資においては、経営支援による投資先企業の価値向上により、複数の中小型案件で投資回収に至りました。また、これらの案件のファンドのアセットマネジメントにおいても成功報酬を受領しております。一方で、前期から持ち越しとなっている大型投資事案は、対象企業の好調な業績を受け、更なる価値向上を待つため、当社グループが所有する全持分売却は一時的に見送り、継続保有することとしました。ただし、今後も一部売却は引き続き検討して参ります。ファイナンスアレンジメントを中心とする投資銀行業務においては、当第2四半期（平成25年1月～3月）の各種アレンジメント案件のクローズ数は第1四半期（平成24年10月～12月）に比べ微増に留まったものの、新規受託は順調であり、今後、収益化していく予定であります。また、前期にアセットマネジメントを受託した地方都市の市街地活性化プロジェクトを端緒として、地域金融機関や事業者との関係構築が進んでおり、公共財関連事業で培った地方自治体との親密な関係も生かして、全国各地での横展開も図って参ります。

また、当社グループは当期の黒字化を達成すべく、その体制整備のためグループ再編を進めました。当第2四半期連結会計期間においては、平成25年3月1日にフィンテックグローバル証券(株)を売却しており、同社が行ってきた投資銀行業務は当社で引続き行っております。また、業績不振であったFGIキャピタル・パートナーズ(株) (FGICP) については、当社所有の同社株式の70%を(株)テンダネスに譲渡し、持分法適用関連会社としております。同社はすでに経営体制を一新しており、今後、当社及び株式譲渡先の(株)テンダネスと連携して、新たな投資運用サービスの構築を目指して参ります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は608百万円（前年同期比58.1%減）となり、FINTECH GIMV FUND, L.P. の投資先企業の投資回収で320百万円、不動産投資の投資回収で522百万円といった大型投資回収による売上があった前年同期に比べ大幅減収となり、営業損失は242百万円（前年同期は164百万円の損失）となりました。経常損益は為替差益64百万円を計上したことで、経常損失は176百万円（前年同期は138百万円の損失）となり、特別利益に事業譲渡益66百万円及び株式売却益25百万円等を計上したことで、四半期純損失は64百万円（前年同期は462百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお当社は、当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社でありましたフィンテックグローバル証券(株)の全株式を譲渡したことにより、同社の行ってきた投資銀行事業を当社で引続き行うこととしております。これを契機に報告セグメントの区分方法の見直しを行い、当第2四半期連結会計期間より、フィンテックグローバル証券(株)が行ってきた「投資銀行事業」と、当社の行う「プリンシパルインベストメント事業」の2つの報告セグメントをあわせて「投資銀行事業」といたしております。

①投資銀行事業

当事業は、中堅企業、成長企業に対し、エクイティ及びデットファイナンスのアレンジメントや財務アドバイザー業務を中心に、M&Aや海外進出支援に至るまで、財務・経営戦略を実現する投資銀行業務を提供しております。また、当社グループ内外で見出される投融资機会に対し、厳選して自己資金を拠出し、投資先企業の経営を支援することで、当該企業の価値向上に努めております。

当第2四半期連結会計期間はフィンテックアセットマネジメント(株) (FAM) の組成ファンド (FGI戦略投資ファンド) 及びベンチャー企業の社債などへ新規投資しております。FGI戦略投資ファンドでは企業投資案件で複数の中小型の投資エグジットがあり、収益を計上しました。なお、大型投資事案は、対象企業の業績が好調なため全持分売却を一時見送りとし、更なる価値向上を図って参ります。

投資銀行業務においては、各種アレンジメント案件の第2四半期のクローズ数は第1四半期に比べ微増に留まったものの、新規受託は順調であります。特に、地方自治体、地域金融機関、事業者への働きかけを活発化しており、地方の金融機関や再開発、地域活性化の財務アドバイザーとして、地元密着のファイナンス手法を提案しております。今後、全国各地で同様のニーズを掘り起こし、横展開を図っていく予定であります。

投資銀行事業の売上高については、不動産投資で522百万円の投資回収があった前年同期に比べ大幅に減少し142百万円（前年同期比82.6%減）となり、営業利益は104百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

②アセットマネジメント事業

FAMは、企業投資に係るファンドの投資回収により、ファンドの運営者として成功報酬を獲得しました。また、不動産アセットマネジメント案件の新規獲得も進んだことで、受託資産残高は増加しました。

FGICPは、主要な顧客としてきた年金基金を取り巻く環境が厳しく、受託資産残高の積上げが見込めないと判断し、体制を一新すべく、平成25年3月29日に(株)テンダネスへ当社所有株式の70%を譲渡し、持分法適用関連会社としました。今後、譲渡先である(株)テンダネスと協力し、新たな投資運用サービスの構築を目指して参ります。

これらの結果、アセットマネジメント事業の売上高は140百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益は29百万円（前年同期は140百万円の損失）となりました。

③その他投資先事業

(株)ベルスは、持家サービス部門が分譲マンション・住宅建築等の紹介料収入が引続き好調を維持しております。賃貸サービス部門・社宅業務部門は、既存顧客の異動減少等の影響を受けておりますが、一方で新規クライアントから社宅管理業務を受託するなど、積極的な営業を展開しました。この結果、単体での売上高は248百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は10百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

Crane Reinsurance Limited(Crane)は、前期までに交付された勘定書により当第2四半期連結累計期間に対応する経過保険料、保険金支払及び経費を計上しております。このため、売上計上にはいならず（前年同期も売上計上なし）、営業損失は86百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。なおCraneは、平成25年1月4日にHardy Underwriting Limited等から再保険契約に基づき1,455百万円の支払を求める仲裁の申立てを受けておりますが、Craneはその請求内容を不当と考え、その妥当性を裏付ける説明やデータを要請し、正当な支払義務の発生する金額の認定を仲裁手続において主張していく方針であります。

これらの主な子会社の経営成績により、その他投資先事業の売上高については、250百万円（前年同期比56.5%減）、営業損失は75百万円（前年同期は225百万円の利益）となり、第1四半期連結会計期間から連結除外したFINTECH GIMV FUND, L. P. (FGF)による投資先企業の売却による売上高320百万円があった前年同期に比べ、売上高及び営業損益とも減少しました。

④公共財関連事業

(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングは、平成24年12月12日付で(株)システム ディーに自治体向け公会計パッケージソフトの開発・販売等に係る事業を一部譲渡し、システム開発・保守に係る経費を大幅に削減しております。事業譲渡先の(株)システム ディーと連携して、引続き自治体に営業展開を図っており、主力である公会計導入コンサルティング事業に注力しつつ、公会計システム販売による収入も得ることで単体では黒字化することを見込んでおります。

この結果、公共財関連事業の売上高はシステム保守に関する売上が事業譲渡先である(株)システム ディーへ移管されたことにより78百万円（前年同期比33.8%減）となりましたが、営業損益は大きく改善し4百万円の営業損失（前年同期は52百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,929百万円（前連結会計年度末比23.2%減）となりました。これは主として、FINTECH GIMV FUND, L. P. (FGF)の連結除外等により、現金及び預金が901百万円、営業投資有価証券が577百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,484百万円（前連結会計年度末比10.8%減）となりました。これは主として、短期借入金が40百万円、保険契約準備金が224百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,444百万円（前連結会計年度末比32.7%減）となりました。これは主として、FINTECH GIMV FUND, L. P. (FGF)の連結除外等により為替換算調整勘定が178百万円増加し少数株主持分が1,223百万円減少したことに加え、四半期純損失の計上及び利益配当により利益剰余金が162百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、上記の通り、企業投資において、当社グループが投資するファンドで企業価値向上による実現益を得ております。また、(株)パブリック・マネジメント・コンサルティングの一部事業の譲渡、フィンテックグローバル証券(株)の全株式譲渡、及びFGIキャピタル・パートナーズ(株)の70%の株式譲渡という3つのグループ再編を行い、不採算事業を整理し、ブティック型投資銀行として企業投資と投資銀行業務に、さらに注力できる体制としました。このように、当社グループは、黒字化に向けその体制固めを進めつつ、企業投資を中心に着実に成果を出してきているといえます。

当連結会計年度の連結業績予想については、当社グループは前連結会計年度から持ち越しとなっている大型投資事案が、売却条件（金額等）により業績に著しい影響が出ることが想定されるため、合理的な業績予想の提示は困難であると判断し、連結業績予想を未定としてきました。今回、当該事案の対象企業の好調な業績を受けて、更なる企業価値向上を待たため、当社グループが所有する全持分売却は一時的に見送りとし、一部売却は引続き検討を継続していくこととしています。このため、現時点においても、一部売却に係る条件により業績に著しい影響が出ることが想定されるため、合理的な業績予想の提示は困難であることから連結業績予想は未定とし、売却による業績への影響が判明次第、提示させていただくことといたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、FINTECH GIMV FUND, L. P. (FGF) は、当該組合のジェネラルパートナーへの投資の助言等を行うフィンテックグローバルキャピタル合同会社の当社からの独立性が確認されるなどの、当社グループと当該組合との関係の変化を総合的に検討した結果、実質的な支配関係がなくなり子会社に該当しないと判断したため、連結の範囲から除外しております。

また、当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であったフィンテックグローバル証券(株)の全株式を譲渡したことにより、同社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,522,754	1,621,557
売掛金	132,127	182,496
営業投資有価証券	2,400,089	1,822,209
繰延税金資産	7,089	6,689
営業貸付金	2,480,482	2,462,838
その他	205,914	123,117
貸倒引当金	△2,025,903	△1,931,710
流動資産合計	5,722,554	4,287,199
固定資産		
有形固定資産	151,253	143,987
無形固定資産		
のれん	259,642	216,809
その他	20,535	8,594
無形固定資産合計	280,177	225,404
投資その他の資産		
投資有価証券	51,419	66,454
その他	212,536	206,274
投資その他の資産合計	263,955	272,728
固定資産合計	695,386	642,120
資産合計	6,417,941	4,929,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,151	43,845
1年内償還予定の社債	16,000	16,000
短期借入金	40,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,171	—
未払法人税等	27,806	6,921
預り金	474,164	471,627
賞与引当金	26,730	30,444
その他	196,868	244,646
流動負債合計	807,893	813,484
固定負債		
社債	56,000	48,000
長期借入金	2,986	—
繰延税金負債	83,335	74,576
退職給付引当金	99,310	106,448
保険契約準備金	1,648,449	1,424,239
その他	87,304	17,943
固定負債合計	1,977,386	1,671,208
負債合計	2,785,279	2,484,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,312,517	2,312,517
資本剰余金	5,183	5,183
利益剰余金	277,772	115,596
自己株式	△52,412	△19,203
株主資本合計	2,543,061	2,414,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,333	△345
為替換算調整勘定	△178,416	—
その他の包括利益累計額合計	△180,749	△345
新株予約権	18,005	1,699
少数株主持分	1,252,344	29,179
純資産合計	3,632,661	2,444,627
負債純資産合計	6,417,941	4,929,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,451,922	608,162
売上原価	641,890	72,411
売上総利益	810,031	535,750
販売費及び一般管理費	974,168	778,375
営業損失(△)	△164,137	△242,624
営業外収益		
受取利息	3,027	563
為替差益	18,516	64,478
その他	7,850	3,452
営業外収益合計	29,393	68,494
営業外費用		
支払利息	2,687	408
貸倒引当金繰入額	—	542
支払手数料	1,406	—
雑損失	161	710
その他	—	568
営業外費用合計	4,255	2,229
経常損失(△)	△138,999	△176,359
特別利益		
固定資産売却益	184	—
関係会社株式売却益	—	25,763
事業譲渡益	—	66,355
新株予約権戻入益	866	16,560
その他	—	1,707
特別利益合計	1,051	110,386
特別損失		
固定資産除却損	233	615
投資有価証券売却損	—	587
のれん償却額	126,767	—
その他	34,111	179
特別損失合計	161,113	1,382
税金等調整前四半期純損失(△)	△299,061	△67,355
法人税、住民税及び事業税	5,855	5,980
法人税等調整額	2,048	△8,358
法人税等合計	7,904	△2,377
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△306,965	△64,977
少数株主利益又は少数株主損失(△)	155,329	△47
四半期純損失(△)	△462,295	△64,929

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△306,965	△64,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,948	△345
為替換算調整勘定	121,974	—
その他の包括利益合計	113,026	△345
四半期包括利益	△193,939	△65,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△419,483	△65,274
少数株主に係る四半期包括利益	225,543	△47

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	アセット マネジメント 事業	その他 投資先事業	公共財 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	638,462	121,291	573,446	118,722	1,451,922	—	1,451,922
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	181,887	3,475	1,800	—	187,162	△187,162	—
計	820,350	124,766	575,246	118,722	1,639,085	△187,162	1,451,922
セグメント利益 又は損失 (△)	126,740	△140,604	225,261	△52,793	158,603	△322,741	△164,137

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△322,741千円には、セグメント間取引消去21,674千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△344,415千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。また、フィンテックグローバル(株)に対する経営指導料としてそれぞれ、投資銀行事業81,000千円、アセットマネジメント事業85,000千円、その他投資先事業6,000千円、公共財関連事業30,000千円を負担しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社であるFGIキャピタル・パートナーズ(株)の株式を個別財務諸表上で減損処理したことに伴い、連結にて当該子会社に係るのれんの未償却残高を一括償却し、特別損失に計上したことにより、「アセットマネジメント事業」セグメントにおいてのれんの金額が減少しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、126,767千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	アセット マネジメント 事業	その他 投資先事業	公共財 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	141,394	139,606	248,511	78,650	608,162	—	608,162
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,000	1,243	1,800	—	4,043	△4,043	—
計	142,394	140,850	250,311	78,650	612,206	△4,043	608,162
セグメント利益 又は損失 (△)	104,557	29,607	△75,346	△4,631	54,186	△296,811	△242,624

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△296,811千円には、セグメント間取引消去68,484千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△365,295千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。また、フィンテックグローバル(株)に対する経営指導料としてそれぞれ投資銀行事業11,000千円、アセットマネジメント事業34,190千円、その他投資先事業10,814千円、公共財関連事業9,000千円を負担しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第2四半期連結会計期間から、フィンテックグローバル証券(株)を連結の範囲から除外したことにより、取締役会への報告単位の見直しを行い、従来の「投資銀行事業」と「プリンシパルインベストメント事業」をあわせて「投資銀行事業」として表示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。